



おあしす -Oasis-

<http://www.macs.or.jp>

INDEX



	ページ
1 ごあいさつ	1
2 伊勢戦国時代村いざっ出陣！企画「ツアー日記」	2
3 次回旅行企画のご案内	7
4 研究発表（医療法人マックスにおいて）	8
5 ご存知ですか？ 「身体障害者補助犬法」施行	9
6 ご存知ですか？② 「おむつ医療費控除」が変わりました！	12
7 随想 ～人から人へ～	13
8 編集後記	14



「この4年間を振り返って」

皆さん、こんにちは。いくらか寒さもゆるみ、日増しに暖かくなってきました。幾分過ごしやすくなってきたように思いますが、いかがお過ごしでしょうか。

在宅医療の推進のためクリニックを発足させて1年、ケアシスも3年が経ちました。まだまだ十分なシステムとは言えないものの、徐々に理想に近づいてきました。と、書くところまで昨年の3年目の挨拶と同じです。これでは、この1年間全く進歩がなかったようですね。もちろんそんな事はありません。我々は着々と進歩しています。

今回のテーマは、この4年間を振り返ってと言う事でしたが、まだ振り返る程の歴史はないので、これからの事を言きたいと思っています。

現在、私の中の2つの懸案事項があります。

一つは、デイサービスを始める事。

もちろん、デイサービスを始めるとなると建物を建てることから始めなくてはならないので、すぐには言うわけではありませんが、今のデイサービスに問題点はないのか、今後望まれるデイサービスはどんなものかなど、色々と考えています。まだ思案中の話ですので、皆さんからも色々な意見や希望を聞きたいと思っています。

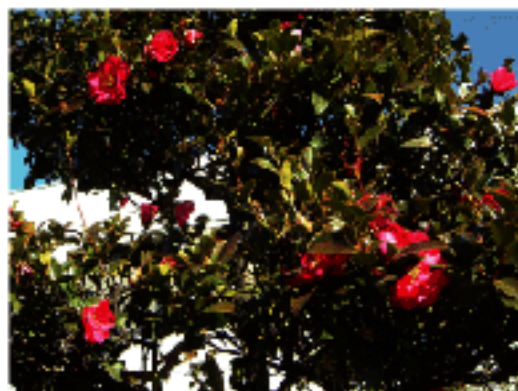
二つ目は、ベストスタッフの育成。

我々の事業所の目標は、たくさんの方の利用者を抱える事ではなく、利用者一人一人に満足して頂ける質の高いサービスを提供することです。質の高いサービスを提案するには、質の高いスタッフが不可欠です。スタッフの普し懸しが、事業所の普し

懸しを決めてしまおうと言うことで適当ではありませんが、幸いにも我が事業所には良いスタッフが集まっています。そして、この良いスタッフが選が、さらに良い最高のスタッフ（ベストスタッフ）になるには、今以上の経験と勉強が必要になります。今年、院内で研究発表会を行いました。スタッフ一人一人が、常に専門意識を持って仕事に臨んで欲しいからです。また、全てのスタッフにケアマネージャー資格をとるよう勧めています。ケアマネージャーとしての知識や仕事は、スタッフにとって必要不可欠だと考えているからです。ベストスタッフの育成のため、利用者の皆さんにもお願いがあります。皆さんが思った事、感じた事、どんな些細な事でもかまいません。どんどん遠慮せずにおっしゃってください。勉強させて頂きたいと思っています。

杉石謙行

ホームページがリニューアル！
< <http://www.macs.or.jp> >
お待ちしております（＾＾）



武蔵町保健センターにて2月7日撮影

「これまでを振り返って
そして・・・」

私は、3年前の介護保険が始まる頃から訪問看護とケアマネージャーの仕事に業務し始めました。

以来、どちらの仕事も毎回新しい経験がで、また勉強不足も痛感しています。この中でいつも心がけていることは「利用者の方に不快な思いをさせないよう」ということです。

これからも利用者の方とご家族が住みなれた場所でも気持ちよく生活して頂けるよう、お伝えさせて頂きたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

井田哲子

ご存知ですか？

「身体障害者補助犬法」が平成14年10月1日から施行されました！

今回みなさんにお知らせするのは、昨年10月1日から施行された「身体障害者補助犬法」です。支援費制度や介護保険制度について何かと賑やかですが、一方で法改正等の整備が進んでたんですね。

日本には「盲導犬」が約900頭実働していて、みなさんもお存知ですよね。でも、「道路交通法」による規定しかありませんでした。そこで、法的位置づけがない「介助犬」・「補助犬」も含め、「身体障害者の自立及び社会参加を促進する」目的で施行されました。

以下に、簡単な概要をお伝えします。

企画部

1 「身体障害者補助犬」って何？

身体障害者補助犬とは、盲導犬、介助犬及び聴導犬のこととなりました。

Check

盲導犬とは；道路交通法に定める盲導犬で、厚生労働大臣が指定した法人（以下「指定法人」）から認定を受けている犬のこと。

介助犬とは；肢体不自由により日常生活に著しい支障がある身体障害者のために、物の拾い上げ及び運搬や着替え等の補助を行う、指定法人から認定を受けている犬のこと。

聴導犬とは；聴覚障害により日常生活に著しい障害がある身体障害者のために、ブザー音、電話の呼出音等を聞き分け、必要な情報を障害者本人へ伝える又は誘導を行う、指定法人から認定を受けている犬のこと。

2 簡単に言ってどんなことが変わるの？

1) いろんな場所へや公共交通機関を利用できるようになりました。

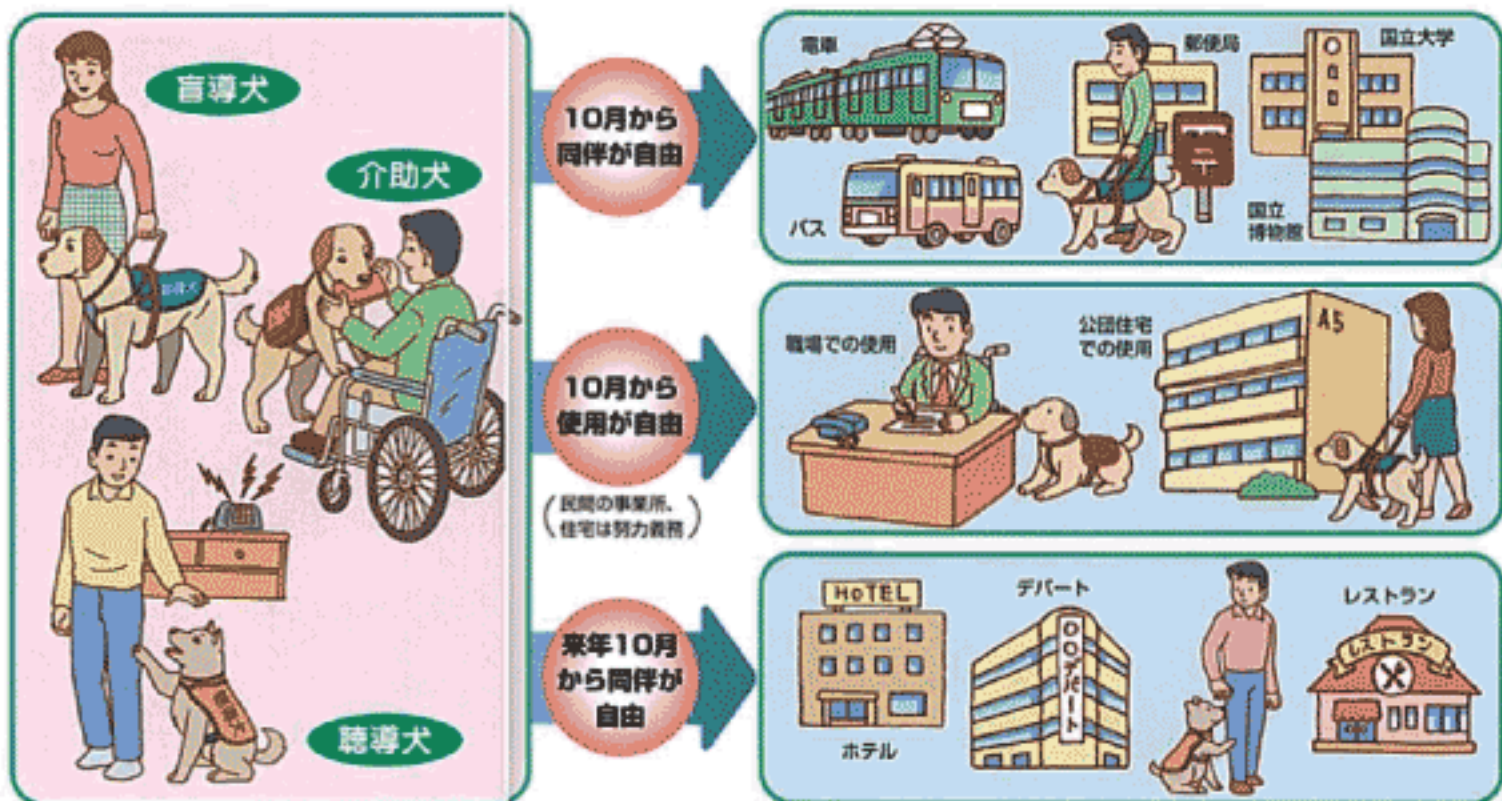
2) 身体障害者補助犬として認定を受ける必要があります。

3) 愛犬（身体障害者補助犬）の管理をきちんと行うこと。

他にもありますが、このような効果と義務づけがされるようになりました。右ページに、簡単に図がありますのでご覧下さい！

また、興味を持たれた方は、クリニック又はケアシススタッフまでどうぞ！





〔指定法人等概要〕

	盲導犬	介助犬	聴導犬
役 割	○道路の通行に著しい支障がある視覚障害者が安全に歩行するため、視覚障害者に付き添って目的地まで安全に誘導する。	○主に肢体不自由者に付き添って物を拾う、運ぶ、動作の手助けをするなど四肢機能を代行することとされている。	○聴覚障害者の日常生活において目覚まし音など音を知らせ導くことや、車の警笛などの危険を知らせることとされる。
育成等を行う団体	○育成9団体 ・財団法人北海道盲導犬協会 (社団) ・財団法人栃木盲導犬協会 (社団) ・財団法人日本盲導犬協会 (社団) ・財団法人アイメイト協会 (社団) ・財団法人中部盲導犬協会 (社団) ・財団法人関西盲導犬協会 (社団) ・社会福祉法人日本サトルス (社団) ・社団法人兵庫県盲導犬協会 (社団) ・財団法人福岡盲導犬協会 (社団)	○育成16団体 ・札幌視覚障害者協会 (社団) ・日本バレーボール協会 (社団) ・茨城介助犬協会 (社団) ・介助犬協会 (社団) ・多摩介助福祉犬協会 (社団) ・トータルワーカーズ (社団) ・SALA Network (社団) ・日本福祉犬育成普及会 (社団) ・聴覚障害者介助犬協会 (社団) ・山梨県障害者介助犬協会 (社団) ・宮下愛犬訓練所 (社団) ・日本介助犬育成の会 (社団) ・介助犬をそだてる会 (社団) ・財団法人レインボー (社団) ・中嶋公仁子 (個人) (社団) ・国際介助犬協会 (社団) ○情報提供等を行う団体 ・日本介助犬アカデミー	○育成7団体 ・聴導犬普及協会 (社団) ・聴導犬育成の会 (社団) ・日本聴導犬協会 (社団) ・日本リビングドッグ協会 (社団) ・動物福祉財団 (社団) ・ドッグスクール野呂 (社団) ・エンゼル聴導犬協会 (社団)
育成(聴導)頭数	○895頭(聴導) (平成13年度末現在)	○育成団体合計で26頭(聴導) (平成14年3月1日現在)	○育成団体合計で19頭(聴導) (平成14年1月1日現在)
公的助成制度 (平成14年度)	○都道府県の盲導犬育成事業(盲導犬の育成団体に委託)に対し厚生労働省が補助金を交付(年間育成頭数280頭)	○都道府県の介助犬育成事業(介助犬の育成団体に委託)について平成15年度予算要求中 ○一部自治体に介助犬の育成に対する助成制度有り	○都道府県の聴導犬育成事業(聴導犬の育成団体に委託)について平成15年度予算要求中 ○一部自治体に聴導犬の育成に対する助成制度有り

3 犬（補助犬法含め）にまつわるお話し・・・

介助犬について

「介助犬の役割とは？」

例1)新聞・カバン・携帯電話などを“マスター(介助犬を必要とする肢体障害者)”の元に運ぶ。

例2)服や靴下を口でくわえて脱衣の手助けをする。等々、約30種類以上の動作を教え込まれて、幅広い介助をします。

「介助犬の訓練は？」

介助を適切に行える訓練のほかに、他人に危害を与えたり、吠えたり、みだらに排泄することがないよう、動物愛護の精神をもって“訓練事業者(ここでは身体障害者補助犬法における「指定法人」とします。以下同様。)”がしつけます。

この訓練は、生後4ヶ月頃から子犬のトレーニングを開始し、約1～2年で介助犬が誕生します。また、“マスター”の障害の度合いによってトレーニングは異なります。

「介助犬を持つには？」

例えば、訓練事業者「特定非営利法人(NPO法人) 介助犬をそだてる会」の場合は、同会の“マスター”会員に登録して頂き、同会の指定することに従って頂ける方を対象としています。また、今すぐほしい方へは、全国の介助犬訓練士紹介や、同会コーディネーター(みなさんへのアドバイスや調整をしてくれる方)紹介をしてくれます。

「介助犬の種類は？」

犬種にこだわりがあるわけではないとのことです。

ご自身の愛犬を介助犬にしたい場合も、訓練事業者によって審査・認定・登録を行うことで、可能です(但し、審査に合格しなくてはなりません！)。

「ご注意ください！」

悪質な業者もいるようで、「介助犬を買いませんか？」とかの勧誘にはお気をつけ下さい！

詳しくは、各会へお問い合わせ可能とのことです。

また、介助犬育成について情報提供を「日本介助犬アカデミー」で行っています。

(参考:介助犬をそだてる会<<http://www.kbic.ne.jp/>>)

セラピードッグって聞いたことありますよね！？

「セラピードッグって？」

セラピードッグというのは、本来、患者さんに対してきちんとした治療目的を持ち、そのプログラム過程に必ず専門医師が携わり、犬だけでなく、猫や小鳥などを介在させて行うれっきとした治療行為です。欧米諸国では医療の一貫として多くの病院やボランティアで推進しています。

これらの“医師が患者さんの治療を目的として介在させる動物(犬など)”のことを「セラピードッグ」と呼びます。

また、その治療法を「アニマルアシステッドセラピー」と言います。

「ふれあい犬って？」

動物とともに施設を訪問しお年寄りや障害をお持ちの方や地域の方とふれあい、そのすばらしさを分かち合う活動です。この活動を積極的に行っているのが「JAHA」です。現在では、全国の愛犬家や訓練所、獣医師が広く活動しています。

動物とふれあうことで、命の尊さや温かさ、様々な人との交流、正しい動物の飼い方を学ぶ等々、これらの活動を「アニマルアシステッドアクティビティー」と言います。

「ご注意ください！」

「セラピードッグを持ちませんか？」などと呼びかける悪質な勧誘が増えているようです。ご注意ください。



平成15年1月18日、ケアシス訪問看護ステーション内に於いて、私たち医療法人マックス職員全員が、一年をかけて取り組んできた研究を発表しました。

それぞれが思い思いのテーマ（業務に関連するモノ）を掲げ、それぞれのやり方で研究していて、全員の個性あふれる発表でした。

全ての研究テーマに、全ての職員に言えること。それは、利用者の、そしてご家族のことを、スタッフが五感を働かせて感じ・考えていたことです。

私たち全員がただ業務を行ってきた訳ではなく、それぞれの視点で、それぞれの個性で、あらゆる角度から利用者・ご家族をサポートして、自分達とみなさんの発展のために努力している。職員みんなが一つの同じ思いで動いていることを、改めて実感しました。

今回の発表にあたって、「おあしす」をお読みになられているみなさま方のご協力無しには達成できなかったことです。

この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

企画部

【研究発表テーマ一覧】

- * より良い移動入浴を目指して
- * 痴呆性高齢者をより深く知る
- * 楽しみながら取り組める遊びリセッション
- * 介護している家族の負担に関する援助のあり方
- * できるADLとして、ADL
- * 訪問サービスに対する利用者及び介護者の意識とスタッフの意識についてのアンケート
- * ケアプランを振り返って
- * 胃腸造設患者と家族への指導チェックリストの作成
- * ターミナルケア ―最後の看取りを悔いのないものにするための援助―
- * 在宅ターミナルの看護師向けマニュアル作成

ご存知ですか？（その②）

「おむつ医療費控除」の取り扱いが変わりましたよー

みなさん既にお済みでしょうが、

「平成14年分 おむつ医療費控除」よりお知らせする手続きが可能です。
ご不明な点は、杉石クリニック&ケアシススタッフまでどうぞ！

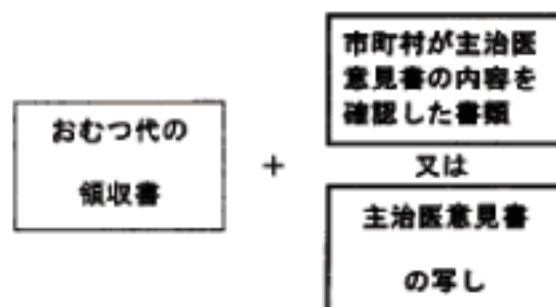
<現行>

- ・ 毎年の確定申告の際に、以下の書類が必要。



<改正後>

- ・ 2年目以降は、以下の書類の提示又は添付でも可とする。



※ 「主治医意見書」（おむつを使用した年に作成されたもの）の

- ・ 「障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）」が「寝たきり度B又はC」（寝たきり）

であり、かつ

- ・ 「尿失禁の発生可能性」が「あり」

であれば可とする。

なお、この医療費控除においては、

「平成14年に入院中のだったので介護保険更新手続きしていなかった！」といった場合、各市町での対応は様々です。

ですが、肝心なのは「日常生活自立度が「B又はC」と「尿失禁の発生可能性が「あり」」ということが「キー・ポイント」ですよ！

いつもお世話になります。
朝起きてすぐ天気予報を見まして、参加をどうしようか悩んでおりまして、企画決行のご連絡で急いで支度し、先生のお迎えに間に合いました。

旅行中みなさんにお声をかけて頂く度に息子の満面の笑みが見られ、私もとても嬉しく思いました。

バスの中の企画もとても楽しく、また、伊勢のお天気も薄日も差す程で、「山田奉行所」では最初から最後まで笑いが絶えず、伊勢うどんもおいしく、楽しい一日でした。

スタッフのみなさんの細かな気配りと暖かい笑顔に、心から感謝しております。

ありがとうございます。

様

参加を勧めて頂いたおかげで、家から出ることを拒み続けていた高齢で身体的に不自由な母が、みなさんと一緒にバス旅行へ行かせて頂いたことを、本当に喜んでおります。

ありがとうございます。

様

楽しい旅行に参加させて頂きありがとうございました。みなさま方の濃やかな心遣いにとっても感動しました。母も、他の方と一緒に外の景色を見たり、いろんな行動をさせて頂くことができ、本当に楽しい思い出を作らせて頂きました。

ありがとうございます。

様

雨降りを心配しつつ出かけましたが、そんなに寒くもなくまずまずの天気。紅葉もきれいに見え「グー」でした。自由時間が3時間もあるはずが終わってみると時間がなかったのが実感でした。

昼ご飯も自由に食べる形式、私はよかったです。「山田奉行所（大岡越前劇場）」もおもしろく見ることででき、とてもよかったです。家の中ではあんなに笑うこともそれ程ない生活、いい運動になりました。

先生、スタッフのみなさん、楽しい一日ありがとうございます。

様

夢みたいで、楽しくて、うれしかった。新しい人とも友達になれてうれしかったです。

すごく演技に活気と迫力があつてよかったです。バスの中も楽しくおいしい食事も食べてよかったです。また今度の企画も是非参加したいです。

様



丁度5年前、65年住み慣れた名古屋から武豊町へ転居してきました。知人もなく寂しい日々を過ごしていました。そんな時、ケアシスの方より「伊勢戦国時代村ツアー」のお話しを受けました。当日、隣の席は初対面の方でしたが、消極的な私にいろいろと話しかけてきてくれて楽しかった話等々、楽しさ一杯の話題で話が尽きることはありませんでした。

戦国時代村では、片山さん（ケアスタッフ）のお世話で見学しました。「山田奉行所」と「舞台で忍者の戦の場面」がとてもおもしろかったです。昼食は、片山さんのお嬢さん二人や大勢の方々と「牛丼」「伊勢うどん」等を食べました。（片山さんのお嬢さんの行儀良さ、飛び入りで実演へ参加される勇氣、本当にすばらしいお子さんだなーと思いました。）

心配された天候にも恵まれ、多くの方々の善意によって、とても愉快で楽しい、有意義な一日を送ることができ、ありがたい感謝の気持ちで一杯です。また次の機会を楽しみにしています。

様



バスから見た紅葉がきれいでよ
かったです。お城もよかったです。

様

戦国時代村は劇がとてもよかったです。

様

楽しかったです。(^^)

様

大変楽しかったです。
これからよろしくお願いします。

様

みなさんお世話になり、ありがとう！とても楽しかったです。
お世話して下さいました看護師さん、又、多くのみなさんお世話になりました。

次回も参加したいです！

様

今回は目的地までの時間と、寒さが心配でしたが行ってみれば？！何とかなるもんですね。ただ、ちよつと余計な迷惑をおかけして、ゴメンなさい。

そして楽しみの「伊勢うどん」！味は良かったけど、麺のほうは・・・？！(微妙でした・・・)

でも半年に一度の外出、みなさんのおかげで楽しかったです。
またお願いしますね。よろしく！

様



ボランティアも、リフト付きバスに乗ったのも初めてで、いろいろ考えさせられ、感動もしました。やはり、トイレや食事にゆつたりと時間をとっていただきたかったもので、一日が早く感じられ、また、戦国時代村での時間が物足りなく思いました。家に帰った後全く疲れもなく、むしろ、心地よい喜びがわいてくることに、自分自身不思議に思いました。

様

いつもお世話になり、ありがとうございます。

また息子と一緒に旅行で、少々遠出かと心配しましたが、道路事情もよく気分は最高。二枚目の役者さんとも、一緒にパチリ。また、帰りに見た長島のネオンのきれいだっただこと。楽しい一日でした。

本当にありがとうございます。

様

旅行ありがとうございます。

明くる日一日寝てしまいました。

でも、また出かけますのでよろしくお願いします。

様

今回は2回目の旅行企画参加となりました。

お天気を心配致しましたが、暑くも寒くもなく、風も無しで、伊勢戦国時代村の野外公演も楽しく見ることができ、朝早かったですけどよかったなと思いました。

高齢利用者には一寸遠すぎたかな？でも、担当のみなさん、いろいろと企画大変だったと思います。ありがとうございます。

様

楽しかった！また参加したいです。

様



にゃんまげ

先日の旅行の際は、色々とお世話になりました。

珍しい所を見ることができて、とても楽しかったです。今後もこのような企画があれば、お世話をかけると思います。参加したいです。

様

旅行の際は夫婦でお世話になり、特に主人に対して何かとご心配して頂いて有難うございました。

お芝居が楽しくて良かったです。帰りの長島のきらきらした夜景も、心がなごんで良かったです。これからもお世話になりますが、宜しくお願いいたします。

様

トイレの時間をうまく取ってもらえてよかったです。

初めての遠出で、自信が付きましました。また行きたいです！

様

数日前の天気予報では雨となったいたが、当日はよい天気になり、楽しいバス旅行ができました。これも介護とスタッフのご苦労と、暖かい企画で大変満足しています！

また次回を楽しみに待っています！

様

利用者の皆さんと一日ゆっくり過ごさせて頂いて、とても勉強になりました。楽しかったです！

利用者の皆さんは、バスと車いすに座りっぱなしで疲れたのではないのでしょうか？

様

旅行を振り返って

スタッフより

今回の旅行で、大勢の利用者さんと出会い、また、みなさんの外出による生き生きとしたお顔をみれて、すつごく嬉しかったです！
今後、近いところで昼食会とか・
・、いかがでしょうか？
例えば、ケアシスに希望する利用者さんを少数きてもらい、普段食べている「プチケア（マックス託児所）」の食事を召し上がって頂くのはどう？

様

現地は車いすで移動しやすく楽しかったが、バスの時間が長く、見学の時間が少なかった。
おむつ・着替えをもつて歩いていたので、まとめて置いておくところがあると良かったのでは？

様

今回、バス内で朝食を取りましたが、朝食は家で済ませている方が多かったのでは？
パンフレットの「持ち物」の中に、「昼食後のお薬・」としか書いてなかったの、「朝食後の内服」を忘れそうになってしまった。

様

お疲れ様でした。
天気も何とかもち、楽しませて頂きました。利用者さんとの忘れられない思い出にもなり、ご家族とのつながりも強くなったことも良かったです。

様

今回の旅行は参加人数も多く、天候の心配などもあり、企画部の方々は大変でした。

参加された利用者様からも「思い切って行って良かった！」「との声やご家族からも「久しぶりにのんびりできた。」「との声を聞き、私自身も改めて「外の空気を吸う」こと、
「楽しみを感じてもらおう」事の大切さを感じました。
ありがとうございました。

様

母親が実際にどのような仕事をしているかを子供が見ることができ、良い機会だった。
子供が好きな利用者さんがいたら、事前に連絡を受け、子供達と一緒に行動していただけたらよいと思う。

様

私は、山田奉行所ないでみた南嶋さんの笑顔が忘れられません。
お待と目で会話して見えたが、その姿を見て「これが生きる」ってことなんだと感動しました。

様

みなさんお疲れ様でした。
今回の企画は、企画始まって以来の参加者65名という大人数に驚きと喜びを隠せません。新しく参加される顔ぶれもあり、みなさんが楽しく・快適に過ごされたか、今でも非常に不安です。

現地での食事も、これまでは用意された決まった食事でした。でも、〈旅行の醍醐味は、現地のフランクフルト・そば・うどんを気楽に、好きな時間に食べること〉との思いから、現地は全くの自由時間としました。中には、逆に用意されていた方が席が確保されていて良かったんじゃない？とおっしゃる方もいたのではと思います。

すべての人の〈満足度120%〉を追求しようと思う私はダメ？と思う今日この頃。

でも、「行って良かった」、「自信がついた」といった感想を頂き、僕としても励みになります。

心残りには「医療法人マックス・サービスをご利用される方「全員」が参加されていない」ことです。そう、〈満足度120%〉を追求しようにも、参加希望される方達のお声があつて初めて実現して行くものです。「日帰りは大変！」

「企画が楽しそうでなかった」、「限られた人だけでしょ？」、「実際にいったらみんなに迷惑かける」、「とても行く余裕がない」……いろいろなみなさんの心の声を想像して、悩んでしまいました。

何とか、みなさんが行きたいと思う旅行等（小旅行含め）が計画できないかと、日々考えています。来年度（平成15年度）は、ある意味再チャレンジをしようと思います。つまり「お泊まり企画」です。「日帰りは大変！」等々の、問題を克服しつつ、新たな展開へ・可能性へ飛躍したいからです。

もしかすると、今後の旅行企画を左右するイベントでもあるかもしれません。

「医療法人マックス・サービスを利用される方全員」が参加したいと思う企画を目指しています。

だから、今まで参加された方も、思いとどまっている方も、〈参加する〉資格があります。

「一度、旅行企画へ遊びに来て下さい！」待っています
koyu

旅行企画のご案内

「伊那谷ツアー ～おいでなんしょ～」を実施します！



期日：平成15年5月31日（土）～6月1日（日）

天竜ライン下り

参加費：大人 19,000円程度（一室2名以上。一泊2食付、バス料金・交通費含む）
小学生以下 1万円程度

コース：ア 天竜ライン下り（約40分）
（投網、船内での捕れたて川魚の塩焼きをたべよう！）
一般大人（中学生以上） 2,600円
身障割引 1,450円
小学生 1,450円
乳幼児 無料

イ 「伊那谷道中」観光
（懐かしい街並みに触れ、自分だけの陶芸も作れるよ！）
団体（15名以上）一般入場料 1,150円
身障割引 575円

*上記各コース選択は、当日の天候によって変更される場合があります。
*また、コース別料金は「参加費」には含まれておりません。

宿泊予定先：「ひるがみ」長野県下伊那郡阿智村智里503-378
Tel. (0265) 43-2255

申込方法：「おあしす vol.9」差し込みの申込用紙にて参加ご意志と希望コースを
教えて下さい。
後日、「申込受付」確認用の紙をお配り致します。



和室



テニスコート



温泉地にちなんだ露天風呂は広々として開放的



伊那谷道中

国民年金の宿「ひるがみ」

随想 (ずいそう) - 人から人へ -



みなさんこんにちは。
今回から、この随想コーナーが連載されることになって、その第1回目をこんな僕に頼むなんて・・・。だって、この2月16日からの新入社員なんです。
申し遅れました、今村 と申します。
何と、仮にもケアマネージャーです。一応、約9年の医療相談業務(年数だけのようない気が・・・)をしてきました。
今振り返ると、「今の僕には欠かせない出来事」がありました。

昭和63年12月21日、当時高校2年生の青春真っただ中。今日は体育の時間でラクビーだ！またちよつとふざけよう！高校へ入ってからというものの、全くといっていい程勉強もせず、部活も殆どせず、どうしようもないやつ。いつものようにふざけて、ラクビー中「ラリアット(プロレスの技)」をしていた。そんな時、ラクビーボールのパスを受け、トライしようと走っていく僕。いつもなら周りがまじめにタックルしてくるはずがその日は違っていた。自分がやってきたことを、自分は予期せず受けてしまった。

あたりは一面「真っ白」にぼやけていた。真ん中あたりが少し明るかったかな？長い時が流れた気がした。目が覚めると、目の前に人の顔が自分を囲むようにあった。

暫くして立ち上がり、休憩後、またラクビー。授業終了の挨拶の時、急に息苦しく、立ち続けることが辛くなった。みんなは更衣室へ向かう。「ちよつと待ってよ！まっすぐ歩けない！右へ寄ってちよつとよ！」そう叫んでも、前を歩く友人は「またまたあー。何ふざけてる」と思っ



で、ふざけてると思った。」とのこと。
やつとの思い(おんぶしてもらい)で保健室へ。口の右側から涎が垂れまわく。横になって右手をお腹に乗せる。でも、何度と右手がベットから落ちる。「なんで？右足も力が入らないし、言葉もうまくしゃべれない！」そう考えると、悪い方悪い方へと考えて、しきりに亡き祖父へ助けを求めている。

暫くして、救急車で脳神経外科専門病院へ運ばれた。診断は「脳挫傷・右半身麻痺・言語障害」。
遠くに普段は厳格な父と母がいて、二人とも泣いていた。何故か僕はその時は落ち着いていた。
完全寝たきり生活は約1ヶ月半。時代は(昭和から平成)へと変わる中、病院のベットで寝たきり。おシッコは間欠導尿したりしたけど何とかシンで出来るようになった。でも、ウンチは寝たままではトウトウでなかった。だから、下剤に頼るしかない！「人に自分の大事な所を見せるのはすつこい嫌だあーっ！」。でも、辛いのは自分だからお任せするしかない。ご飯は何を食べさせられてるか分からない。母曰く、「嫌いなものも食べてよかった。ハハハ・・・。」だって、「笑い事じゃないよ。」。

でも、その時も不安は全くなかった。むしろ、早く動きたくてうずうずしていた。

徐々に、ベットの角度が上がる時間が多くなり、担当の作業療法士の先生も座位保持訓練を始めてくれた。「絶対一人で立つちゃダメよ！」と言ったけど、こつそりと一人で練習。やつぱり、転けそうになったけど、はやる気持ちに勝てません。ダメと言われた階段昇降も、勝手にやって転んでた。

あの時の僕は、暇さえあれば、窓から見える我が母校のグラウンドと校舎を見てた気がする。
今思うと、「想像していなかった程の沢山の友人が励ましに来てくれた」「同級生が心配して泣いて

くれ、千羽鶴を持ってきてくれた」「仲が途絶えていたクラスメイトが修学旅行に一緒に行こう！と元氣付けてくれた」こと、何より「母が下の世話から何からしてくれて、叱咤激励してくれた」こと、みんなのおかげで「不安」は無いに等しく、元の生活に戻るものと信じて疑わなかったのだと思う。

運動リハビリと周囲の精神的サポート（リハビリ）のおかげで、約2ヶ月半後に右手はまだ力が入らないけど退院。無事修学旅行へ行けた。

この入院生活で、同病院長から「医療ソーシャルワーカー」の存在を知ることになります。

自分の経験を生かして「医療ソーシャルワーカーになりたい！」「誰かの支えに、助けに少しでもなれば」と、カウンセラーの夢から発展して夢を抱く。

それまでのツケが回って、勉強は殆ど追いつけない。いい時でも平均点。それでも挫折せずに大学を目指して猛勉強。何とかなるモノで、入学。そして、アルバイト（理学療法士補助）をしていた病院へ就職。そして現在に至る。

今でも「自分が自分でなく人形みたいだった」ことを思い出します。あとほんの「コンマ一ミリ」で、人生は変わっていました。

でも、その時強く感じたことは、今まで何も考えずに五体満足だったことです。何も考えずに動く・話すことが、どんなに凄いことか。

「生きること」「暮らすこと」って、良い意味でも悪い意味でも、凄いことですよ。

今の自分があることは、あの時あの瞬間のお陰だと思う。ほんとに、心から感謝。

「ありがとう！」

掲載ご希望の方は「自由な形式」「気ままな言葉」で構いませんのでスタッフまでお声をかけて下さい。企画部担当者よりご連絡致します。

編集後記

みなさんお久しぶりです。

ほんとにご無沙汰です。

今回は、旅行・研究発表・新コーナー等々、増やしていた内容をドット〜んと大放出！

内容はいかがでした？

新コーナーへの参戦のために、どうか皆さんご協力下さい。お願いします。

平成15年5月31日〜6月1日と、今度はお泊り旅行を企画しております。

一緒に、ひとつぶる浴ひませんか？
どうぞ検討下さい。

それではみなさん！

まーた あーう ひまでスー♪



おあしす -Oasis- vol.第9号

平成15年2月 発行

企画・編集

医療法人マックス企画部

〒470-2309

武豊町字梨子ノ木3-80 グレイス石川1階

杉石クリニック
-在宅医療研究所-

tel.(0569)74-1560

fax.(0569)74-1569

ケアシス

tel.(0569)74-2150

fax.(0569)74-2151



医療法人マックス

杉石クリニック&ケアシス

- Since April 1, 2002 -



ホームページ <http://www.macs.or.jp>
